

◎通学合宿みんなで学ぶ『子ども村』の継続

小学校入学後の児童への取り組みとして、平成21年度に多くの地域ボランティアの方のご協力を得て『地域全体で子どもを育てる』という気運を醸成することができた明日のまちづくり特別枠『通学合宿みんなで学ぶ『子ども村』』を平成22年度も引き続き、市民の皆さんの理解と協力を得ながら取り組んでまいります。



▲昨年行われた通学合宿の様子

◎『生きる力』の育成と安心・安全な学校づくり

子どもたちが夢や目標に向かって力強く未来を切り開いていくために必要な『生きる力』を育成するため、学校・家庭・地域と連携した事業を展開するほか、安心して勉強できる環境づくりとして、子

どもたちが一日の大半を過ごす活動の場であり、災害時には地域の避難場所としての役割も果たす学校施設について、平成21年度に実施した耐震診断の結果をもとに、特別中学校体育館の耐震補強工事を実施するとともに、平成22年度も引き続き耐震診断を実施し、児童生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるよう耐震化に取り組んでまいります。

子育てや教育について、平成22年度においては、これらの取り組みを積極的に展開するとともに、子どもたちの豊かな心や健康・体力をはぐくむ教育に力をそそぎ、新たな事業などについての研究も進めてまいります。



▲耐震補強工事を行う鷺別中学校体育館

活力を生むまちづくり

◎元気な地域経済の実現と雇用の場の創出

元気な地域経済の実現に向けた市内の企業活動の支援と雇用の場の創出につきましては、中小企業などに配慮した融資制度を、平成22年度に融資限度額や償還期間などの融資条件を緊急措置として緩和する改正を行うとともに、国の『緊急雇用創出事業臨時特例交付金』などを十分に活用し、新たな雇用の場の創出に努めてまいります。

また、平成21年度第二次補正予算において創設された『地域活性化・きめ細かな臨時交付金』を活用し、平成22年度の実施を予定していた事業を中心に、建設業関連のさまざまな業種にわたって、市内企業の受注に配慮した事業を実施してまいります。

◎登別ブランドの推進

地域経済の活性化には、市

内企業の活発な経済活動が必要でありますし、取り扱う商品やサービスなどに付加価値を付けることが大切でありますので、登別市内の特産品に対する信頼や知名度を高め、市内産業の取り組みを支援するため、地域資源を活用した商品などを地域のイメージと結び付け、ブランド化することにより、資金や人材を呼び込み、持続的な地域経済の活性化を図る『登別ブランド推進事業』を展開してまいります。



▲2月に行われた募集説明会

◎観光産業の振興と広域観光の推進

観光振興の取り組みについて、登別市は9種類の泉質を誇る登別温泉というビッグブランドがありますが、引き続き経済環境の悪化や円高などの影響により、観光客の入り込みと宿泊者数は年々減少傾向をたどり、観光関連業界は極めて厳しい状況にあります。

観光客を再び呼び戻すのは容易なことではありませんので、わたし自身はもちろん、観光関連団体と連携し、誘客活動や修学旅行の誘致を幅広く展開するほか、市民の皆さんの知恵と協力を得ながら、観光客に登別市全体をさらに楽しんでもいただけるよう滞在型観光の取り組みを進め、観光産業のさらなる振興に努めてまいります。

外国人観光客の誘客について、特に中国やアジア諸国からの観光客の誘客とその対応に力をそそぎ、大きな目標として将来25万人の外国人宿泊者を確保してまいりたいと考えております。

さらに、近隣の市町と連携した広域観光圏の取り組みについて、登別市をはじめ、室蘭市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町、白老町の7市町や各市町の観光協会、観光関連団体などで構成する『北海道登別洞爺広域観光圏協議会』において、地域経済全体の活性化に資する『北海道登別洞爺広域観光圏整備計画』に基づく実施計画を策定し、国の支援を受けることが可能となる『観光圏』の認定を国に求めながら、圏域の豊かな自然資源や地産地消を基本と